

わがまち老上だより

15号

老上学区

検索

編集・発行 老上学区まちづくり協議会・草津市老上市民センター(老上公民館)
〒525-0055 草津市野路町520番地 TEL・FAX 564-1430 sc-oikami@city.kusatsu.lg.jp

ふるさと老上のこころ
自主(進取の心) 協同(連帯性)
敬愛(人権尊重)

姿勢に気をつけて

輝け!老上っ子①

元気だしていこう! 老上中学校吹奏楽部

腹筋150回、足あげ10回、そして校内をランニング…体育部の練習ではありません。老上中学校吹奏楽部の部活動は、まずからだづくりから。練習や演奏会をやりきる体力や肺活量をつけることが基本です。部員は42名。全員1、2年生で男子は7名(男子募集中)あとは女子。練習はテスト期間をのぞき週5日。土日どちらか1日練習します。練習の成果は滋賀県吹奏楽コンクール南部地区大会は銀賞、アンサンブルコンテスト地区大会は銅賞に、それぞれ輝きました。アンサンブルというのはクラリネット五重奏や金管八重奏などの小グループ演奏です。ひとりひとりの担当楽器は顧問の先生が体格や希望、編成を考えて決めています。「他の部に入るつもりだった子が、老上中学で吹奏楽と出会い、高校に入っても演奏を続けて楽しんでいます」と顧問の小林直子先生。



2年生で部長の小寺希佳(こてらののか)さんは「つねに音楽と接していただけるのがうれしい」と話します。部の演奏をひとつにまとめるために姿勢を正しく、まわりの音を聴くよう部員に指示します。「みんな元気なので音がよくできることが、うちの部のいいところです」と老中吹奏楽部の特徴を語ってくれました。2月クレアプラスフェスティバル、3月南部地区吹奏楽部

新人コンサートとつづく演奏会にむけて、練習に力が入ります。「吹奏楽部に集まった、この縁を大事にして」と小林先生。「みんなで響きあうこと、こちよい音楽を体感できること。一緒にできるよろこびと達成感を、ぜひ経験してほしい」と部員たちへの思いを語られました。

■3月20日(祝)第33回新人コンサート
会場・野洲文化ホール 10時30分開演
入場料300円(大人子ども共)



目の不自由な人に

みまもり・つながる・老上ファミリー②

やさしいって、どんなまち?

「道がひろくて、歩きやすいまちだなあ」最初に駅の西側を歩いたとき、山元多喜子さんはそう感じました。点字ブロックを備えた新しい南草津のまち並みに、好印象を持ちました。白杖(はくじょう)を持ちながら生活する山元さんには視覚障がいがあります。彦根から南草津のマンションに移り住んで7年。子どもの出産を機に引っ越しました。子どもがまだ小さいとき、草津市からもらった絵本が地域とつながるきっかけとなります。点字訳のついた絵本。老上学区のボランティア団体「点字つばさの会」が点訳をつけた本でした。会の活動に参加してみると、山元さんの存在が役立つことがわかり、かかわりが深まっていきます。自宅から、駅や市民センターの周辺へと行動を広げてみると、区画整理されて生活施設もバランスよく点在する老上学区は、まさに「頭に地図を描きやすいまち」でした。道路を歩いていると声をかけて



くれるまちの方もいます。春から新1年生になる子どもとご主人の三人暮らし。「人の声かけが多いほど助けになります」と山元さんは話します。物のバリアフリー化にはお金や時間がかかりますが、まわりの声かけや気づかいなど、心のバリアフリーは理解ひとつでできます。老上のまちづくり協議会ではどんな人にも住みよいまちにするために、ひとりひとりがいい声かけをしながら、見守り、つながる地域づくりをめざします。また、災害時の避難経路を確認する防災ウォーク等、安全安心部会の活動も積極的に進めています。

■ボランティア団体「点字つばさの会」
老上市民センターにて活動中
毎月第2金曜日9時30分~12時
■点字訳つき絵本は草津市立図書館にて所有
点字訳のついた絵本



おいかみ伝承スポット④

さるたひこじんじゃ

猿田彦神社

交通・安全、道案内の神さま

万事善い方向に導く「みちひらき」の神、猿田彦大神。全国約2千ヶ所で祀られているといひます。伊勢神宮近くの猿田彦神社が高名ですが、草津ではここ、野路川ノ下町の猿田彦神社。旧栗太郡内古道のひとつで南大萱（おおがや）、南笠、矢倉をむすぶ街道と矢橋街道の分岐点にあたる交通の要に立地します。寛元二年（1244年）に伊勢国浦田の里からこの地へ勧誘したと伝えられています。以前は木が生茂るこんもりした森で、村の鎮守を思わせる風情がありました。現在は、栗東市に抜ける前の道路が整備され、近隣の宅地開発も迫ってきて、木もすっかり切られ眺めのよい風景が神社の境内から広がります。正月は、境内に数台の自動車を迎え入れ交通安全の祈願を



猿田彦神社の左義長



行いました。1月左義長、伊勢参り、日待ち講、2月初午祭など、年頭は恒例の儀式が続きました。これまでも、そして、これからも地域の人々の善い「みちひらき」を祈り、親しまれ敬愛される猿田彦神社です。

(野路川ノ下町 木村 進)

もちつき大会 ★わがまちキラリ★

盛り上がりました。野路下北池町内会

12月11日（日）に下北池町内会恒例のもちつき大会を行いました。前日から役員が集まり、もち米を洗ったり、もちつき臼・杵セットを借りに行ったり、もち箱などを洗ったりしました。当日は朝早くから役員が集まり、テントを立て、もち米を蒸し、お湯を沸かして町内の人々を迎えました。ノロウイルスの流行で中止されたところが多く聞かれ心配しましたが、手洗い、マスク等の衛生面に配慮して開催しました。みなさまのおかげで大変盛り上がり、楽しくもちつき大会をすることができました。これからもみんなが楽しく気持ちよく暮らせる町を目標に頑張りたいと思います。(野路下北池町内会長 川副 和男)



4月から老上市民センターは、「老上まちづくりセンター」へ。

これまで、「市民センター(公民館)」は、主に社会教育を推進していくための施設でしたが、平成29年4月から、「地域まちづくりセンター」として、まちづくり活動を進めていく施設に変わります。



【老上まちづくりセンターの役割】

◎住民が主役のまちづくりを応援します！

学区内で活躍されている様々な団体の運営や事業への協力・助言などきめ細やかな支援を行います。

◎より活発な交流の場や学びの場づくりへ。

主役のみなさんの交流の場や学びの場づくりがより活発になるように、ホームページでは、各種講座やまちづくり協議会事業、自主教室の活動紹介など情報提供に力を入れていきます。

◎地域と市役所の架け橋になります。

地域課題の情報収集に努め、その声を市に届けます。「広報くさつ」など市政情報や地域の情報を発信します。



◎貸館の申込方法について。

みなさまに利用いただけるセンター施設は、大会議室、図書室、和室、調理室です。

利用日の3か月前の初日（毎月1日）から前日までに、窓口で利用申込が必要です。

(例えば…)7月31日に利用したい場合

4月1日から7月30日まで手続きいただけます。(ただし、1日が休館日の場合は翌日からになります)

*夜間の利用時間・料金等が変更(表参照)になっていますので、ご注意ください。

利用時間	午前	午後	夜間	
	9時～12時30分	13時～17時	17時30分～21時	
料金	大会議室	1,200円(1,800円)	1,400円(2,100円)	1,600円(2,400円)
	その他の部屋	400円(600円)	500円(750円)	500円(750円)

()は市外の方が利用される場合の料金です。

◎諸証明の発行業務は3月に終了。

老上まちづくりセンターへの移行にともない、これまで窓口で行っていた諸証明の発行業務は終了します。4月からは、市役所の担当窓口か、マイナンバーカードをお持ちの方はコンビニエンスストアを利用ください。ただし、ごみ袋とごみ処理券の販売・引き換えは引き続き行います。

元気パワーあふれる、新春書初め大会



ことしは何の漢字だろう。みんなが注目する中、講師の草川薫人先生が大筆で豪快に書き上げた字は「飛」。トリ年にふさわ

しい書道パフォーマンスから始まった恒例の新春書初め大会（1月7日開催、「わんぱくプラザ老上」の活動の一環）。老上西小学校体育館に老上学区と老上西学区から集まった子ども85名が先生に続けとばかり、筆を持ちました。「墨を筆にたっぷりふくませて勢いよく書きましょう」先生の教えをうけて、力作がぞくぞくと集まります。金、銀、銅賞を先生が時間をかけて審査する間、みんなは交流タイム。昔あそびやカロム、いろんなニュースポーツで遊び、昼にはフランクフルトやぜんざいがふるまわれました。遊びの最後は、ふるさと老上カルタ。床一面のカルタを全員で取りあう大熱戦でした。そして、金、銀、銅賞の表彰式です。受賞者ひとりひとりに賞状が手渡されました。高学年の参加が少なく、低中学年が多かったことしの書初め大会。そのぶん、「低中学年の元気が目立ちました」と草川先生の全体評。文字通り、子どもパワーが飛びたつような勢いのある大会となりました。



金賞、銀賞、銅賞は以下の通り

- 【低学年の部】
- 金賞・小1 吉岡虹瑚（よしおかにこ）
- 銀賞・小1 国須希実（くにすのぞみ）
- 銅賞・小2 福田凧彩（ふくだなぎさ）
- 【中学年の部】
- 金賞・小4 福田真央（ふくだまお）
- 銀賞・小3 草川悠衣（くさかわゆい）
- 銅賞・小3 川崎由貴（かわさきゆき）
- 【高学年の部】
- 金賞・小6 田村真菜（たむらまな）
- 銀賞・小6 高橋真珠（たかはしましゆ）
- 銅賞・小6 木村佑羽（きむらゆうわ）



フランクフルト 180本、あつという間！

青少年育成区民会議ではお昼タイムに、フランクフルトを焼いてみんなに食べてもらいました。当初150本予定していましたが、急ぎよ追加で30本。合計180本のフランクフルトがあつという間になくなる人気コーナーとなりました。



「わんぱくプラザ老上」2月25日閉講式

年末のクリスマス会、年明けの新春書初め大会と進んで、「わんぱく」の活動も閉講式を迎えました。炭火で焼いた棒巻きパンやマシユマロを食べながら、9回の活動を子どもたちが文集にまとめました。春からは新しい「わんぱく」が始まります。参加をお待ちしています！



青少年育成区民会議

おめでとう！老上中学生の標語が入選

草津市青少年育成大会が昨年11月に草津アミカホールにて開催されました。「あいさつ運動啓発作品」の表彰があり、以下の標語が入選しました。

- ☆中1 福井心海笑（ふくいみうみ）
「あいさつで笑顔を広げよう！」
- ☆中2 小藤みなみ（こふじみなみ）
「おかえりと言われるここが私の居場所」
- ☆中3 森脇花保里（もりわきかほり）
「辛い日もあいさつすれば笑えるよ」



すこやかセミナー

2月13日老上中学校体育館で中学1、2年生296名を対象に、老上西学区青少年育成区民会議と共同で開催されました。「薬物乱用の害と健康」と題し、びわこ成蹊スポーツ大学の谷川尚己教授に講演いただきました。



社会福祉協議会

園児と一緒にもちつき

家庭でおもちつきの風景が少なくなる中、老上幼稚園でももちつきイベントがありました（昨年12月）。社会福祉協議会からボランティア参加した方々は、園児たちと一緒にもちつきをして、つきあがったおもちをみんなでいただきました。そのあとは、園児のみなさんと和気あいあいとした時間をもちました。

また、年明けの新春書初め大会では社会福祉協議会のスタッフが、お昼に子どもたちにぜんざいをふるまいました。





わがまちショット「集いのグリーンガーデン」

JR南草津駅西の広場で、ガーデニングサークル「grassy」が活動されているときに撮った一枚です。(江藤 沙織)

参加してみませんか？

「ALL老上スポーツクラブ」



週に1回、楽しく汗を流しましょう！

あらゆる年代の方が、好きな種目をレベルにあわせて楽しめる総合型地域スポーツクラブです。

□場所 老上西小学校体育館及びグラウンド

□時間 毎週土曜日 午前9時～12時まで

(11時30分終了後、整理体操と清掃を行います)

□種目 どの種目を行うかは、各自の自由です。

【体育館内】・スリータッチボール・ディスコン
・囲碁ボール・バドミントン・ソフトバレー
・スポーツ吹矢・他ニュースポーツ

※体育館内は室内用シューズが必要です。

【グラウンド】・グラウンドゴルフ ・ペタンク
・他ニュースポーツ

□参加者 地域に居住する方及び勤務されている方。
年齢は問いません。(他地区の方も歓迎)

□年間参加費 小学生 ひとり 500円

中学生以上 ひとり 1,000円

お試し参加も出来ますよ！

参加される方は、開催日に老上西小学校体育館で受付を行います。お気軽にご参加ください。

ALL老上スポーツクラブ代表者 服部勝義

【お問合せ】老上市民センター ☎564-1430

(永田 卓 ☎090-8200-1830)



お話相手に、おうかがいします。 「老上おしゃべりボランティア」

高齢の方や外出しにくい方に、おしゃべりを通して孤独や不安を少しでも解消していただくという活動が老上おしゃべりボランティア(老上社会福祉協議会所属)です。ご希望の方には2人ひと組みでおうかがいします。【お問合せ】老上市民センター ☎564-1430

公民館での学び



地域課題学習 お出掛けドクターとお気軽トーク



(11月29日開催 講師 おうみクリニック 坂井伸好院長)

身近な病気であるインフルエンザ・ノロウイルスなどの症状・予防対策等わかりやすく教えていただきました。

ボランティア養成講座 組みひもづくりから学ぶこと

(12月2日開催 講師 滋賀県立むれやま荘のみなさん)

障害者支援施設のむれやま荘についての説明を聞いた後、利用者の方からリハビリ活動の組みひもづくりを学び、参加者と交流しました。



パソコン講座 表計算ソフトでサクッと！

(1月17, 18, 19日開催 講師 吉田知津子さん)

表計算ソフトのエクセルの並べ替えや計算式の使い方を学びました。



食育講座 糖尿病にならないカラダ作り！

(1月23日開催 講師 老上学区健康推進員さん)

糖尿病を防ぐには毎日の食事管理が大切、と話された後、調理実習を行いました。16名の参加者は簡単に作れる低カロリーのメニューに満足の様子でした。



やすらぎ学級 いつまでも心豊かに健やかに

第6講「ニュースポーツを楽しもう！」

(12月2日開催 講師 老上学区体育振興会)

「うめぼしのうた」で体操をした後、会長の手作りの遊具でスロービンゴ、ストラックアウト等を楽しみました。



第7講「あなたがいのちの主人公」

(2月3日開催 講師 山田登喜子さん)

自分自身の暮らし方について「自分で考えていくことが大切で、その意思を誰かに伝えておく」と安心、ということを学びました。



■第8講(3/3)は八幡誠さんによる「笑いは天然の抗がん剤」のお話、森乃阿久太さんの落語、閉講式、お楽しみ会開催。

【編集後記】寒さの中にも春らしい光を感じるようになりました。文化活動や人のつながりの場などたくさんあり、来年度の老上も、暖かな風土が芽吹き、ますます伸びゆく兆しを感じました。(S.E)